

●一次検査結果

	対象者数 (人)	受診者数 (人)		判定率 (%)	結果判定数 (人)			
		受診率 (%)	うち県外 受診		判定区分別内訳 (割合 (%))			
					A		二次検査対象者	
A1	A2	B	C					
合計	169,956	13,840(8.1)	5,019	13,775 (99.5)	5,823(42.3)	7,180(52.1)	772(5.6)	0 (0.0)

A判定：94.4%

●二次検査結果

	対象者数 (人)	受診者数 (人)		確定率 (%)	結果確定数 (人)			
		受診率 (%)	次回検査		通常診療等			
					A1	A2	うち細胞診受診者	
合計	719	604(84.0)	592(98.0)	6(1.0)	40(6.8)	546(92.2)	54(9.9)	

※小数点第一位で示されている割合は、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

●細胞診結果

悪性・悪性疑い 26人 男性：女性 4人：22人
 平均年齢 25.7±1.2歳（24-29歳）、震災当時15.4±1.6歳（12-18歳）
 平均腫瘍径 13.7±10.0mm（5.3-49.9mm）

●悪性・悪性疑い26人のうち、手術実施19人（乳頭癌18人、濾胞癌1人）

第56回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

本格検査（検査3回目）の実施期間中から（2017年度から）、本格検査の一部として、25歳になる年度に実施する検査を開始し、一次検査はこれまで実施した1992年度から1999年度生まれの対象者、二次検査は1992年度から1998年度生まれの対象者に対する検査の結果を示します。

一次検査でA判定は全体の94.4%、B判定は5.6%、A2判定の大半は20mm以下ののう胞、B判定の大半は5.1mm以上の結節、という傾向はこれまでの結果と同様でしたが、対象者の年齢が高いため、B判定率および結節の発見率は先行検査、本格検査（検査2～5回目）と比較して高くなっていました。

二次検査では、穿刺吸引細胞診の結果、26の方が悪性ないし悪性疑いとなっています。

本資料への収録日：2021年3月31日

改訂日：2026年3月31日